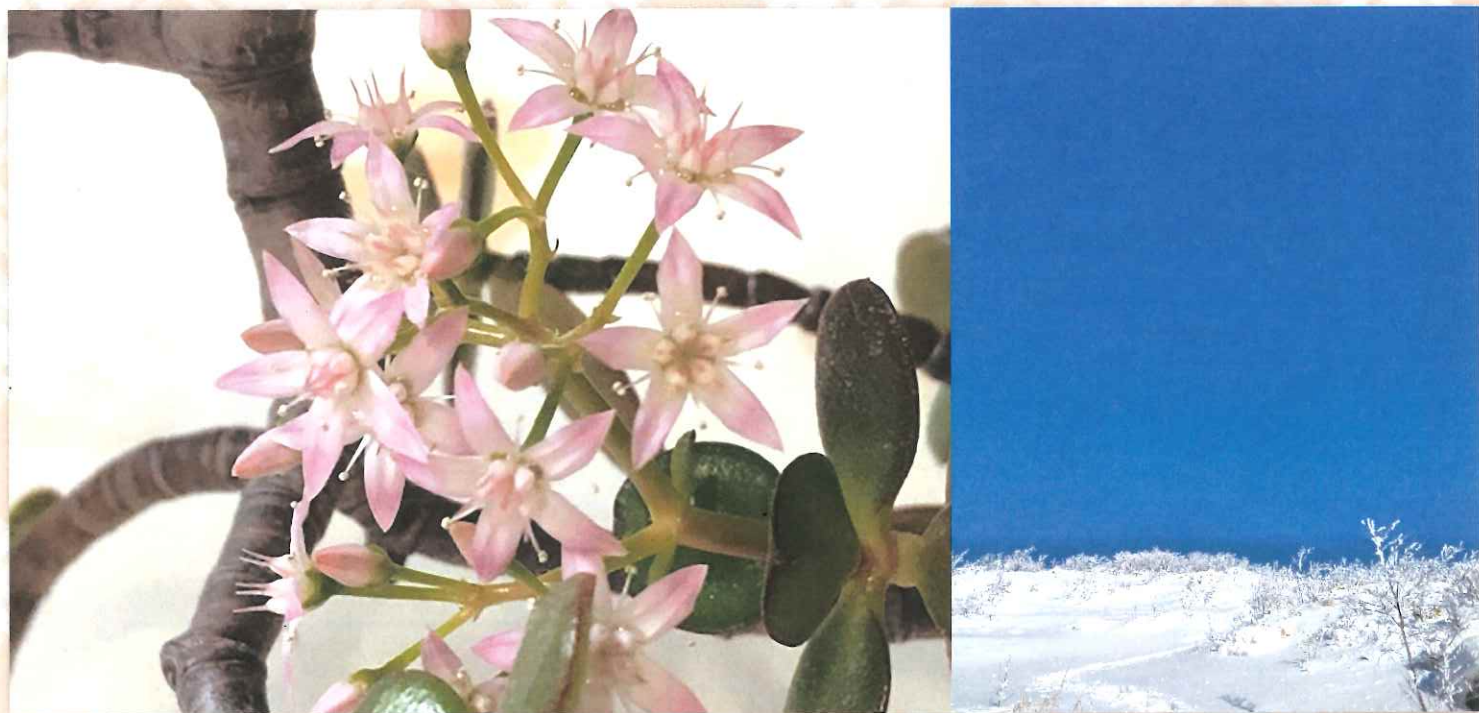


2021.2月発行

第51集

協議会だより



写真提供：上澤真樹

新年度の挨拶

会員の皆様には、訪問看護ステーション協議会活動への協力・支援をいただき感謝申し上げます。又、コロナ禍の中、訪問看護を提供している皆様に心から敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、令和2年度の当協議会の活動計画は新型コロナウイルス感染拡大の状況から見直しをせざるを得ませんでした。書面での総会で事業計画を承認していただいた後でしたが、社会や政策の動向を考慮し、結果縮小という判断になりました。新型コロナウイルスだけでなく、他の感染症や災害対策について普段からの備えの重要性を実感しました。

日本看護協会は、訪問看護が地域包括ケアの要としてさらに力を発揮できるよう、訪問看護師倍増に向けた確保策の達成に向けた方策として、訪問看護提供体制の強化を図る拠点となる「訪問看護総合支援センター(仮)」の都道府県への設置推進を掲げています。さら

一般社団法人 岩手県訪問看護ステーション協議会
会長 関 りゅう子

に、令和3年度厚生労働省予算・政策に関する要望書を「訪問看護提供体制の強化」を重点項目の筆頭で提出しています。現在、2025年度までに全都道府県にセンター設置を目標に、富山・新潟・山形等が試行事業として取り組んでいます。当協議会でも重要課題として取り組む必要があると考えます。

昨年、ナイチンゲール生誕200年にあたり看護職への関心深め、地位の向上を目的とした「Nursing now」キャンペーンの取り組みが展開されました。同時に新型コロナウイルス感染症への対応に看護職の役割や関心が大きく取り上げられました。今年4月に行われる介護報酬改定に反映されていることを期待したいと思います。新型コロナウイルス感染の収束はまだ見えませんが看護職・関係職種・関係団体行政等の連携、協力を大切に訪問看護の向上に努めてまいります。今年度も会員皆様の一層のご支援、ご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染対策

国内で新型コロナウイルス感染症による累計死者数が5千人を超え、歯止めがかからない状況が続いております。岩手県でも連日感染者が報告され収束の見通しが立たない状況です。我々訪問看護を行う上で感染リスクと隣り合わせです。今回コロナ感染疑いの利用者訪問の経験として岩手県沿岸三カ所で開催訪問看護ステーションを運営し2018年11月より埼玉県埼玉県であゆみ訪問看護ステーション大宮北を開業した株式会社ウェルファー代表取締役の齋藤裕基さんに伺いました。

一埼玉県でのコロナ感染症疑いの利用者への訪問経験を教えてください。

人工呼吸器を装着している利用者へ訪問をしていたのですが、利用者が濃厚接触者となり感染症対策をして訪問した経験があります。濃厚接触者となった経緯は、近所に別居している家族がコロナに感染、その家族が利用者宅に出入りしていたため濃厚接触者となった経緯です。

一訪問時、个人防护具(PPE)着用はどのようにしていたのですか

指針に従いゾーニングを行って、訪問者で共有していました。玄関より外をグリーン。玄関から3m程度をグレー。それ以外はレッドゾーン。玄関でPPE着用(マスク・ゴーグル・ガウン・くつカバー)し居室に訪問してました。

个人防护具の種類と着脱手順例

【通常の場面】

着用

ポイント①
シールドマスク
→ キャップ
の順に着ける

ポイント②
手袋でガウンの袖を覆う

脱衣

①ガウンと手袋は一緒に、裏返ししながら脱ぐ。

②手指衛生

③キャップ→シールドマスクの順に
顔に触れないように外す、

④手指衛生

②と④の手指衛生忘れず！ 顔に触れない！ 丁寧に手順通り脱ぐ！

一バイタルサイン測定時、物品の取扱いはどのようにされたのですか

PPEを適切に装着しているのでケアは制限することなく行ってました。血圧計や体温計、SPO2、聴診器等は自身の物品は持ち込まず利用者が準備した物品を使ってました。

一ケア終了時、PPEの脱衣や廃棄物の処分方法を教えてください

玄関にダストボックスを置き、ガウンと手袋は一緒に裏返ししながら脱ぎ小さくまとめて捨てる。手指衛生し、顔に触れないようキャップ・マスクを外し再度手指衛生してました。その日の使用物品は一つの袋に入れ使用した日時を書きました。国立感染症研究所の発表ではコロナウイルスの残存期間としてプラスチックやステンレスの表面では72時間までと指針があるので日時を記載し、72時間以上経過したものを一般廃棄物として家族が捨ててました。

【N95 マスクの着用を要する場面※】

※気管挿管, NPPV, 気管切開, 心肺蘇生, 用手換気, 気管支鏡検査など一時的に大量のエアロゾルが生じる処置の実施時

着用

気道分泌物の吸引、気管挿管、NPPV装着、気管支鏡検査、心肺蘇生を行う可能性がある場合はN95マスクを使用する。

ポイント①

N95装着後はユーザーシールチェック

完成形



- a 両手でマスクを覆う
- b 息を強く吐き出す
- c マスクと顔の隙間から空気が漏れないことを確認する



ポイント②

N95 → シールドマスク → キャップの順



ポイント③

手袋でガウンの袖を覆う

脱衣

①ガウンと手袋は一緒に、裏返ししながら脱ぐ。



③キャップ → シールドマスク → N95の順に

②手指衛生

顔に触れないように外す。

④手指衛生



②と④の手指衛生忘れずに！ 顔に触れない！ 丁寧に手を通り脱ぐ！

— スタッフのスケジュールはどのようにしていましたか

その日の最後になるよう訪問調整をしていました。今回PCR検査結果陰性であったため大事には至りませんでした。感染予防策を講じることは大変重要となっています。

— 貴重な経験を教えて頂きありがとうございました。感染者の情報収集のタイミングによっては接触後の場合があり、その場合の想定を考える必要があること、予防具が入手困難な状況が続いているのが現状です。また岩手県の感染者は感染履歴を把握できておりますが市中感染がいつ起こってもおかしくありません。密を避ける。マスク、うがい、手洗い、消毒の感染予防の基本を徹底し自分ができる対策をしっかり行っていきたいと思います。

上澤 真樹





研修のお知らせ

教育研修委員 高橋 和枝

豪雪の中、日々お忙しくご活躍されていると拝察いたします。

この度、訪問看護ステーション協議会の研修開催が大変遅れることとなり会員の皆様には、大変ご迷惑をおかけしております。

コロナ禍でもあり、なかなか日程調整ができず、今回は以下のご案内のようにWeb配信での

研修を企画させていただくこととなりました。

すでに、地域で研修会を企画され実施しているところもございますが、まだの地域は特に今回の研修にご参加いただけると有難いです。

基本的にはステーション協議会会員の方であれば何方でもWeb参加可能です。

日時：令和3年2月27日 時間：14時～15時30分 参加方法：Zoomでの参加

第一部 「訪問看護ステーションのコロナ感染者発生時の対応の実際」

講師：盛岡市医師会訪問看護ステーション 管理者 加藤 晴美 先生

第二部 「2021年度制度改正で訪問看護ステーションはどうなる？」

講師：一般社団法人ワール共同代表 関西学院大学大学院 経営学専攻
上妻 裕弥 先生 看護師 株式会社ビジネスケア代表取締役

ホームページリニューアル予定です

現在のホームページには制約があり、法人として掲載すべき情報が不足しています。理事会では、必要な情報を掲載でき最新の情報をリアルタイムに更新することができるようなホームページ

にするために予算を含め検討しています。各ブロックでの会員のご意見をブロック長を通し収集しています。よろしくお願いいたします。

今年度より広報委員はふたり体制で活動しています！

上澤さんよりひとこといただきました。

今季冬は寒波や大雪などで例年になく厳しい寒さが続いております。昨年からコロナウイルス等良いニュースがない日々です。2021年は良い年になるよう1月某日姫神山(1124m)に登山してきました。当日は雲一つない快晴の天候に恵まれ素晴らしい景色を堪能することができました。

訪問看護ステーションらら 上澤 真樹



山頂より岩手山(2039m)を望む

編集後記

昨年からの新型コロナウイルスの猛威はおさまることをしらないようです。自粛や対策で気持ちも沈みがちですが、終息を信じて今を頑張るのみ。利用者さんの笑顔に感謝して訪問看護に励みたいと思います。春は絶対来ます。(広報委員)



一般社団法人岩手県訪問看護ステーション協議会

〒028-3615 紫波郡矢巾町大字南矢幅7-445 TEL 019-613-4493 FAX 019-613-4494